

9月1日は
防災の日



和歌山県

歯科衛生士会



災害関連の歯科衛生士の活動について
説明させていただきます。 2022.9.1

災害に備えましょう！

日本各地で豪雨による水害が多発しています。

守るべきは「いのち」と「くらし」です！

日頃からの備えを大切にしましょう！



一社）和歌山県歯科衛生士会



平時から災害について学んでいます

日本歯科衛生士会の「災害時歯科保健歯科衛生士活動マニュアル」をもとに災害に対する知識を深めています。

毎年、災害歯科保健歯科衛生士の育成研修が開催され、受講後は災害歯科保健歯科衛生士

として登録します。和歌山県歯科衛生士会では毎年、災害に関する研修会を開催し、会員への情報提供に努めています。



例年 9/1～9/30 に災害歯科保健のeラーニングが開催されます！

公益社団法人日本歯科衛生士会
令和3年度「災害歯科保健歯科衛生士フォーラム」
に参加して



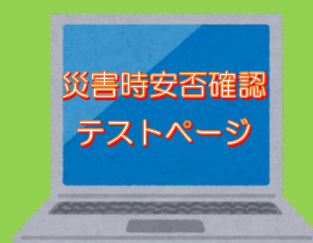
総会后伝達会
2022年5月29日
山下 千穂

今年度は災害歯科保健歯科衛生士フォーラムの伝達会や、災害研修会の講演動画を視聴しました。



平時から安否確認訓練をしています

日本歯科衛生士会では「災害時安否確認テストページ」がホームページに設けられます。災害時安否確認訓練を実施しています。9/1～9/7 にテストページが開設されます。日本歯科衛生士会会員の皆様は、いざという時のために、是非参加してみましょう！



平時から連絡の取れる体制を作っています

和歌山県歯科衛生士会では会員をグループに分け
災害時安否確認連絡ができる体制を作っています。
震度5強以上の地震や地域別の災害が発生した時
には、担当者から問い合わせの連絡をします。



平時から災害に備えています



- ・災害時安否確認体制
- ・活動時着用ベスト
- ・アルコール消毒ジェル
- ・関係機関との協力体制の構築
- ・使い捨てマスク
- ・長期保存用液体歯みがき
- ・フェイスシールド



和歌山県歯科衛生士会では
これらの準備ができています



今後の備え（取り組み予定）

- ・災害時アクションカードの作成
- ・備蓄品リストと保管場所の管理
- ・活動時のアセスメントシートや掲示物の準備
- ・災害活動ができる歯科衛生士の名簿とシフトのマニュアル作成

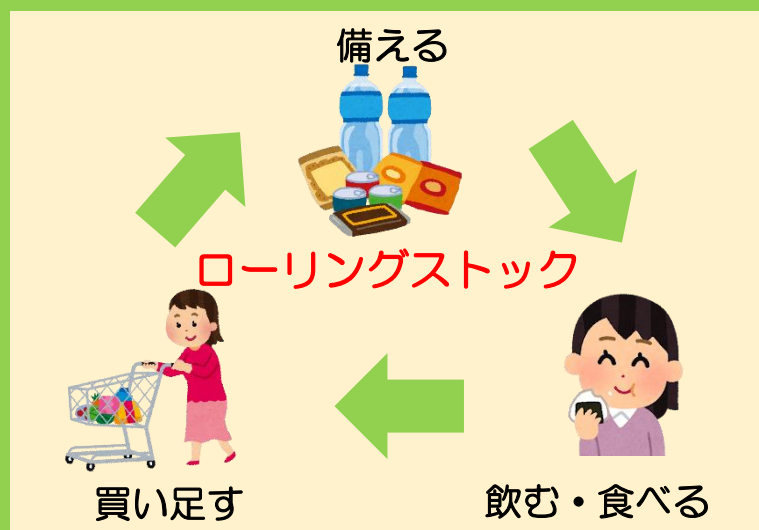
災害時歯科保健医療支援アクションカード	
全員共通	
《避難所等歯科標準アセスの説明》	
☐ 本部に集合 ☐ 名札の着用 ☐ 本部の指示で、各チーム編成（結果を本部白紙に記載） ☐ アセス員・指導物品の確認、交通手段等の確認、天候の確認 ☐ 担当部署へ出発	
《担当部署》	
避難所（一般） 病院	福祉避難所 高齢者・障がい者・福祉施設等
各アクションカード参照	
《帰省後》	
☐ チーム内での共有情報内容の再確認（ポイント記録） ・避難所等の状況共有 ・実施上の課題整理（人員物品の過不足、アクセス、その他トラブル等情報） ☐ 代表者が本部に報告（メモ提出） ☐ 標準アセス書の提出と小町表への記載（PCへの入力）	

家庭での備えについて

日頃から自宅で利用しているものを少し多めに備えることで、災害時に自宅で当面生活することが可能となります。

常に最小限備えるべき品目・量を保ちながら、多めに備えているものを日常の中で消費していくため、特別な準備は必要ありません。

このような考え方を **ローリングストック** といいます。



いつも使っている日持ちする食品などを備えましょう。いつもの味は心が落ち着きます。お子様がいるご家庭はおやつも備えておきましょう。

災害時に役立つパッククッキング



時々、災害備蓄品を使用し、食事を作ってみよう！

本会の防災活動について

2019年に、県内の主要な駅で「防災にお口のケア」啓発活動を実施しました。現在は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を中断していますが、今後また活動を再開していきたいと考えています！



和歌山駅



岩出駅



海南駅



箕島駅



田辺駅



新宮駅

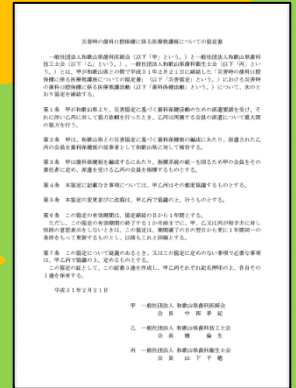
「災害時のお口のケア方法」や「避難時
持ち出し袋への口腔ケア用品の準備」
「災害時に困らないお口の健康づくり
(かかりつけ歯科受診)」についての
リーフレットと口腔ケア用品サンプル
配布を実施しました。



今後の災害時の活動について

和歌山県歯科医師会・和歌山県歯科技工士会と

「災害時の歯科口腔保健に係る医療救護班の派遣
についての協定書」を2019年に締結しています。



JDATわかやまでは、19名の歯科衛生士が名簿登録し、発災時には
歯科医師、歯科技工士とともに活動することになっています。



JDAT（日本災害歯科支援チーム）は、災害発生後おおむね72時間以降に地域歯科保健医療専門職により行われる、緊急災害歯科医療や避難所等における口腔衛生を中心とした公衆衛生活動を支援することを通じて被災者の健康を守り、地域歯科医療の復旧を支援すること等を目的としています（日本歯科医師会HPより）

また、日本歯科衛生士会の災害時歯科保健活動ボランティア登録をしている和歌山県会員は15名います。

登録しても必ず被災地で活動するというわけではありません。
県内での連絡調整などの役割もあります。ぜひご登録下さい。

新型コロナウイルス感染症について

災害歯科保健歯科衛生士登録

登録は
こちらから